

事業名：5 漁場環境監視事業

細事業名：(2)藻場監視調査

期間：H19年度～

予算額：3,677千円（うち国庫734千円）

担当：増殖推進室（西村 美桜）

目的：

沿岸域の藻場の分布状況を監視する。

成果の要約：

1 調査内容

(1) 藻場監視調査

平成30年から令和2年の3年間で県内沿岸域の全17定点を網羅することとし、令和元年は5月に酒津2定点、青谷1定点、中山3定点の計6定点で調査を行った。各定点に設定した調査ライン上（10m毎）の藻類被度及び周辺環境について潜水目視で観察を行った。記録した藻類被度は被度階級表を用いて5段階に分類し、各定点の被度階級を求めた。その後、過去の調査結果と比較を行った。

2 結果の概要

(1) 藻場監視調査

令和元年調査時の被度階級を平成28年調査時と比較したところ、6定点中1定点（青谷）は維持、2定点（酒津、中山）では増加が確認された。3定点（酒津1定点、中山2定点）では減少が確認されたが、被度階級は3～4（景観被度50%以上）と高い数値だった。

成果の活用：

中国五県公設試験研究機関共同研究の担当者間で情報交換を行った。

関連資料・報告書：

該当なし